

## 優秀賞

「たすけあい」とは何だろう

真鶴町立真鶴中学校三年 村田愛里

「たすけあい」とは何だろう。

たすけあいとは困っている人や誰かの助けを必要としている人に手を差し延べてあげたり、他の人から差し延べてもらった手に頼ることだと思う。

中学一年生の頃、私は数学があまり得意ではなかった。私は塾に行っていたが塾の授業の内容もあまり理解できずに先に進んでしまっていた。「どうしよう。」と手が止まっていたときに一人の男の子が声をかけてくれた。その男の子はとても頭がよく、その中でも特に数学が得意だった。彼はそのあと、私のわかっていない所を丁寧に教えてくれ、たくさん質問にもしっかりと答えてくれた。それは私にとつてとても嬉しかった。そのおかげで私は授業にしっかりとついていくことができ、少しずつ数学が得意になっていったのだ。中学二年生になって塾で席替えをした。私の隣は女の子になった。彼女はあまり勉強が得意ではなかった。それで手が止まってしまうていた。私はそんな彼女を見たとき、あることを思った。「前の私と同じだ。」と。それと同時に私は「私を助けてくれたあの男の子の様に私も彼女を助きたい。」そう思った。そのあと私は声をかけてみてどこがわからないのかを聞き、彼女に解き方やポイントを教えた。そうすると彼女は、私に

「ありがとう。」

と言った。とても嬉しかった。また、こうして私がほんの少し勇気を出して声をかけるだけで彼女を助けられたこともとても嬉しかった。

他にも「たすけあい」を感じた場面があった。

私は電車に乗っていた。その日は休日で電車の中はとても混雑していた。その電車に一才くらいの小さな女の子を抱え、三才くらいの男の子を連れただお母さんが乗ってきた。とても大変そうだったので、私は声をかけて席を譲った。しかし、私

はその時一人だったので一席しか譲れなかった。「お母さんの座る席しかないな。」  
と知っている、隣に座っていた男性も声をかけて席を譲っていたのだ。私は、と  
てもすてきだな。そう思った。こうしてたすけあいによって世の中が成り立ってい  
ると思うと、たすけあいとはとてもすてきで重要なことだなと感じた。

「たすけあい」とは、どんなときでもなくてはならないものだと思は思う。私た  
ちが生活しているこの世界もたすけあいがなければ成り立っていない。私は日々  
そう感じる。人の善意でできているこの世界を私はとてもすてきだなと思う。だか  
ら私も困っている人や誰かの助けを必要としている人に手を差し延べて助けたい。  
そして、私もたくさんの人に助けってもらって生活し、たくさんのことを学びたい。  
そして、そのことによって成長できたらさらにいいなと思う。この「たすけあい」  
の心を忘れずに生活をし、この「すてきな世界」をいつまでも作っていききたい。